

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名【新】岐阜県文化財データベースWebサイト公開事業

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111 (内3146)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,800 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,800	0	0	0	0	0	0	0	2,800
決定額	797	0	0	0	0	0	0	0	797

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和元年度から5年度で実施した岐阜県文化財アーカイブ事業において、県内の文化財(国指定、県指定)の写真撮影及び県内の仏像3Dデータ収集を行った。このデータを広く県民にも発信し、活用できるよう、県ホームページでの公開を通して文化財の価値を発信する必要がある。

(2) 事業内容

岐阜県文化財アーカイブ事業において収集した文化財データ等の情報発信のため「岐阜県文化財データベース」を公開する。データベース検索機能を付与した県ホームページの改修と、県内の文化財(国指定、県指定)の写真、神仏像の3Dデータ等について加工及び公開を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方
全額県負担

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	2,800	岐阜県文化財データベースWebサイト公開
合計	2,800	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

3 地域にあふれる魅力と活力づくり

(1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信

① 「清流の国ぎふ」の文化・芸術の創造・伝承・発信

(2) 次世代を見据えた産業の振興

④ 世界に選ばれる持続可能な観光地域づくり

(2) 国・他県の状況

国は「国指定文化財等データベース」サイトを公開しており、他県におけるウェブサイトでも整備が進んでいる。

(3) 後年度の財政負担

令和6年度のデータベースWebサイト公開業務を行った後も、情報の更新等のほかに、県ホームページの刷新に伴う継続した運用保守の必要はあるが、後年後についての財政負担はない見込みである。

(4) 事業主体及びその妥当性

令和6年度に国民文化祭が開催される状況で、県が主体となって本県の文化財をアーカイブ化した成果をウェブサイトで積極的に公開することは、県民の文化財に対する理解の向上、その保存・伝承、インバウンドを含む誘客促進に繋がる支援として妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

デジタル化・アーカイブ化された文化財資料等を令和6年度中に、Webサイトでの情報発信により積極的に県民に提供する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R6)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 3 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>わが県の宝である貴重な文化財の適切な保存・活用を図り、文化財資料のデジタルアーカイブ化した文化財の公開・活用を促していくことは極めて重要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>指定文化財の写真や神仏像の3Dデータを活用したふるさと学習等の充実が期待される。スマートフォンやタブレットを活用する若い世代にもリーチできる。県内の代表的な文化財を紹介することにより、文化財を中心とした地域散策といった文化財の活用が図られるなど、極めて有効な事業である。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>デジタル文化財データは冊子と比較して更新の追加が容易であり、より広く県民に閲覧してもらえるため、活用の効率化が図られる。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 3Dデータ公開サイト (Sketchfab) のアカウント管理を、担当で実施する必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県として文化財の基礎的なデータを完備し情報公開を継続するとともに、文化財の活用を課題として県民への広報活動にも積極的に取り組む必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	